

議会だより

かどがわ

May
2018

5

No.154



春を駆ける

- ・ 30年度当初予算2P
- ・ 委員会審査報告5P
- ・ 一般質問 2人が登壇8P
- ・ こんなことが決まりました10P

平成30年度
一般会計
当初予算

67億8000万円
前年度比-6.5% 4億7500万円減

可決
全員賛成

栄ヶ丘町営住宅D棟建設、
地方創生推進事業など計上

一般会計当初予算は67億8000万円。前年度と比較すると、率にして▲6.5%パーセント、▲4億7500万円の減額予算となります。

国の伸び率+0.3%、県の伸び率+0.7%、予算編成の指標となる地方財政計画の伸び率+0.3%を大きく下回っていますが、町長の任期満了に伴う選挙を控え、骨格予算を基本に最低限の経費を計上し、公共事業、町単独事業、その他補助事業などを必要最低限にとどめているためです。

自主財源 37.0% (H29年度当初 38.9%)
依存財源 63.0% (H29年度当初 61.1%)

障害者自立支援に伴う社会保障関係経費の増加、
新庁舎建設事業、町営住宅建設予算、地方創生推進事業費などは計上



栄ヶ丘団地町営住宅 D棟建設事業



新庁舎建設予定地



地域おこし協力隊西門川地区

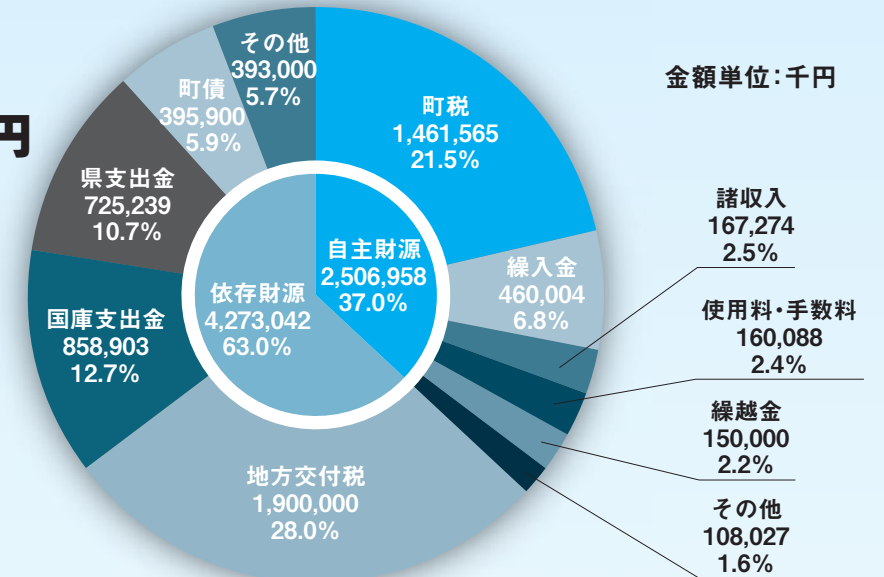


地域おこし協力隊牧山地区

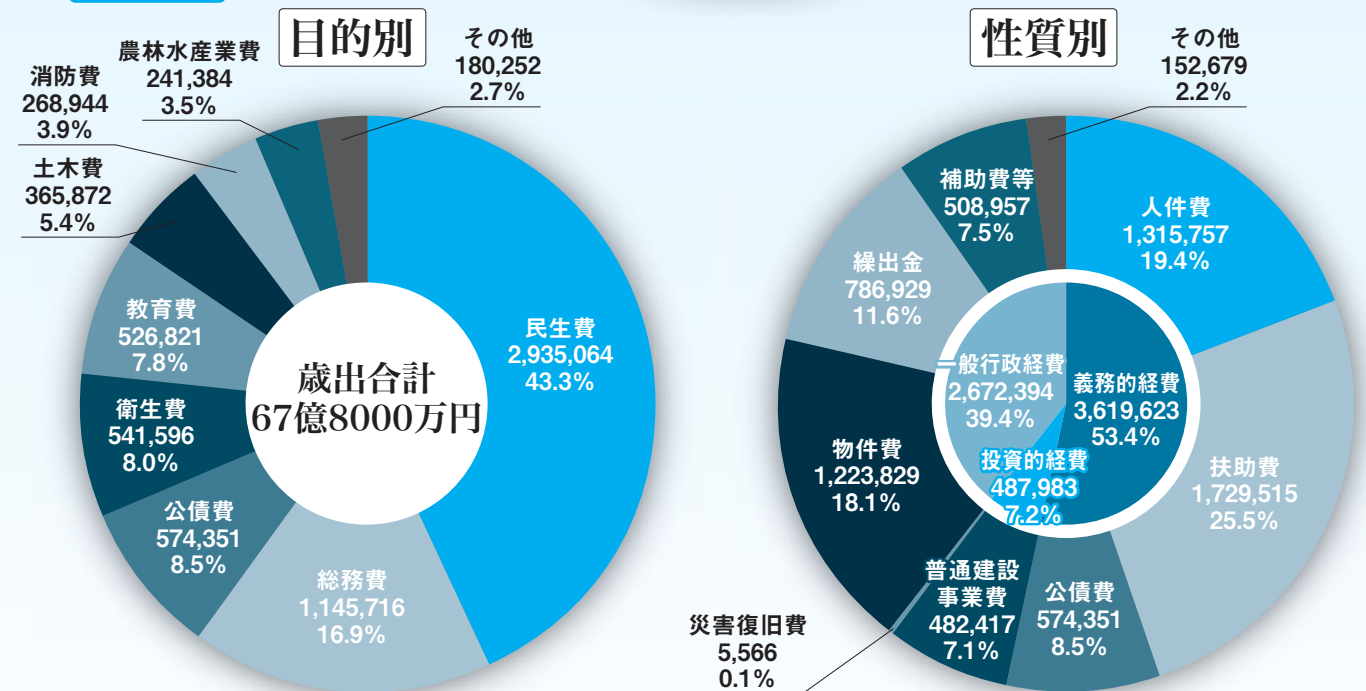
平成30年 第1回定例会

平成30年第1回定例会は、3月6日から20日までの15日間開かれました。29年度補正予算、30年度当初予算、人事案件、条例改正など審議いたしました。また、7日には2人が登壇し、一般質問が行われました。

歳入
67億8000万円



歳出



総務課
主な質疑
総務財政常任委員会

○警備委託料の人員費増加による。
 ○職員のコンプライアンス研修予定は、
 ○2日間、45人程度を半日ずつ、4コマで研修を考えている。全職員を予定している。
 ○地区区長会の研修参加状況は。
 ○一昨年は25人で、九州管内1泊2日。例年半数程度の参加状況。



平成29年度町一斉避難訓練

総務課
 ○平成30年度の避難訓練の予定は。
 ○5月27日(日)に町一斉避難訓練を予定。消防団の各地区避難場所への参加、地域との連携を行う。また、防災士の参加も促している。

財政課・新庁舎建設室
財源確保
 ○地球館と27年より交渉。鑑定評価を元に、30年度から年105万円、5年毎に引き上げ、40年からは年131万円にする予定。
 ○段階的引上げは、相手側の要望による。
国土管理課
国土管理費の工事請負費387万円とは。
 ○主に庁舎関係で、突発的な修繕(軽微なものを除く)に対応するもの。

議会議務局
 ○東白杵公平委員会事務局として本町の担当期限は。
 ○決まっていない。

まちづくり推進課
 ○心の杜の管理業務委託料の増加理由と、心の杜保全会の職員体制は。
 ○30年度、営繕管理の職員を1人補充、ほか定期昇給により400万円ほど増加。
 ○「保全会」の正規雇用は、営繕・管理部門に5人、受付・接客に4人。他パート職員を含め全部で25人体制。

議会議務局
 ○委員研修の予定は。
 ○滋賀県のアカデミー研修ほか、広報全国大会などを予定。

税務課
 ○ゴルフ場の税収は、ピーク時1千万円程度、今後太陽光発電事業所からは。
 ○計画の4万キロワットで試算し、年額1千万円程度の見込み。
会計課
 ○不祥事後の納付書管理は。
 ○納付書扱いの複数管理、教育使用料納付書変更など。

企画調整課
 ○企画調整事務事業の委託料の増加理由は。
 ○地域公共交通会議運営補助金で運営してきたが、直接町から委託料で支出する。
 ○3月から西門川地区に1人、自然薯の栽培や地域の活性化が目的。1年毎の契約更新で、3年間予定。

委員会
 ○委員会の意見・提言
 ○消防・防災関係の補助金の利用促進。
 ○交通安全対策
 ○高齢者の運転免許証返納促進のため、特典拡充。交通事故ゼロへ。
 ○選挙
 ○投票率向上のため、若者への啓発活動。
 ○「心の杜」
 ○町持ち出しが増えている。検討すべき。
 ○地域おこし協力隊
 ○協力の自立・定住のためのサポート強化。
 ○地域公共交通
 ○買物弱者のために「かどつびタクシー」の更なる利用促進。
 ○企業誘致
 ○町独自の企業訪問などを期待。

(記 米良格)

◎平成30年度特別会計・公営企業会計当初予算

国民健康保険事業	23億8950万8千円 (20.6%減)	簡易水道事業	1059万1千円 (0.5%減)
後期高齢者医療	4億2912万4千円 (3.7%減)	水道事業	5億6009万3千円 (24.6%増)
介護保険事業	15億7083万円 (2.6%減)		

()前年比

上水道配水管の更新整備などが計上されています。

平成29年度から30年度へ繰越して実施される事業

事業名	金額
かどがわ温泉心の杜空調施設整備事業	820万円
産地パワーアップ事業	6711万1千円
松瀬・川水流線道路改良事業	2630万円
南ヶ丘・山ノ口線道路改良事業	4399万円
倉谷地区排水路整備事業	690万円

平成29年度 補正予算

一般会計

歳入歳出をそれぞれ4億203万4千円を増額し、予算総額は81億6314万1千円

歳入		歳出	
主なもの			
町税	4388万7千円 追加	新庁舎建設基金積立	5億円 追加
地方交付税	2億4512万4千円 追加	県営急傾斜地崩壊対策事業	1200万円 追加
繰入金	1億4500万円 追加	予備費	2億799万6千円 追加
国庫支出金	1788万6千円 減額	合併処理浄化槽設置事業	4317万2千円 減額
県支出金	3409万1千円 減額	人件費	9346万1千円 減額

特別会計

歳入・歳出をそれぞれ補正

歳入		歳出	
国民健康保険事業	2億2447万3千円 減額		29億6349万5千円
後期高齢者医療	2558万2千円 減額		4億2748万円
介護保険事業	7975万9千円 減額		16億2488万円

文教厚生常任委員会

国民健康保険事業
特別会計

主な質疑

福祉課

今年度制度改正があります。国民皆保険制度を支える国民健康保険制度の安定的な運営を図るため、県が責任主体となり、財政運営や事業運営の確保等の役割を担い、制度を安定化させるものです。

問高齢者虐待の実態は。
答具体的な表現は差し控えるが、状況に応じて対応している。

問法人後見業務の内容は。
答今年度から社協の法人後見センターへ委託する。

問認知症サポーターの現状は。
答地域にサポーター養成講座受講者が1700人を超えているが、今後は活動実践できるように推進していく。

っているから。

問小学校の体育館の屋根の修理は。
答カバ工法で予算を上げています。築45年経過すれば、今後建て替へも視野に入れた考えもある。

問学校支援地域本部事業の企業ボランティアの内容は。
答職業体験学習(電気、建設関係、製造業等)、職業講話など幅広く対応できるようにしていきたい。

問国保制度改正に伴う町のメリットは。一人あたりの保険料は県内でどの位置にあるのか。
答メリットは県が運営に入ることで突発的な給付増に対しても対応しやすく、安定する。保険料は26市町村中18番目である。

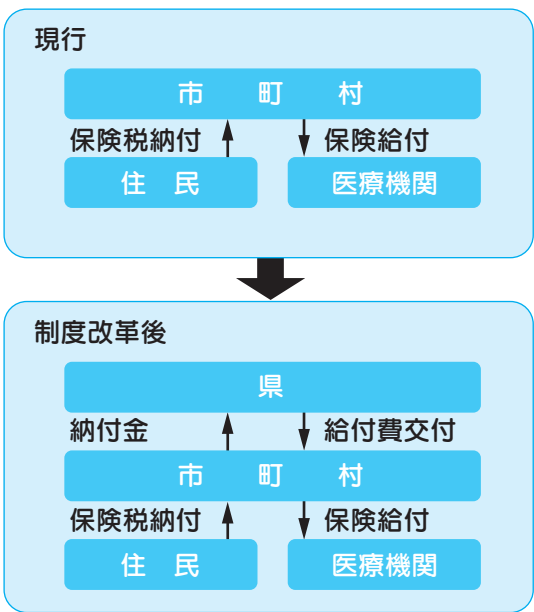
問奨学金の返済の状況は。
答例年並みの返済状況。口座振替を推進している。

問巡回ラジオ体操の内容は。
答3年間実施要望してきた巡回ラジオ体操が、今年7月26日(木)心の杜で行われることに決定した。NHKラジオで放送される。今まで町で実施してきたラジオ体操のさらなる進展を図る。

問町民体育大会の在り方の検討は。
答近隣市町村の開催状況、種目など参考にしながら検討していきたい。



「オレンジリングは認知症サポーターのしるし」



国民健康保険制度略図

町民課

問結核肺がん検診とは。
答本年度より結核検診を充実させた結核肺がん検診という新しいものになり、放射線被爆量を少なくできる。

問図書館の現在の蔵書数及び来館者数は。
答平成29年3月末時点で蔵書数は10万794冊、28年度の来館者数は5万8568人。



昨年の町一斉ラジオ体操(門川小学校)

問後期高齢者医療の歳入歳出前年度比3.7%減の原因は。
答県全体の給付費が減

問生活に困窮している家庭はないのか。
答食料の支援を受けている家庭は数件ある。

産業建設常任委員会

主な質疑

まちづくり推進課

問合同会社SAITE(サーテ)の業務内容や雇用について。
答上納屋の旧イチマル水産の場所で操業。カラスミの製造販売で、高齢者や障がい者の雇用もある。新規の雇用は6人を予定している。

問畜産業者の戸数は。
答プロイラー24戸、産卵4戸、肉牛13戸の計41戸。

問住宅使用料滞納分の内訳は。
答平成27年度からの繰り越しが27件、滞納額は約1700万円で50人ほどが対象。栄ヶ丘団地が多い。

問塵芥処理費の委託料のごみ収集運搬及びびり立業務の内容は。
答清掃工場内で今も埋立てられていない場所の管理。重機を幸進社が保有しており、運搬業務と合わせてまとめて委託している。契約は毎年随意契約だが、その理由としてパッカー車の保有と収集ルートがわかっているため。

問地下(埋設式)ではなく地上式の消火栓はあのか。
答12年程前に尾末地区で施行。高齢者が多い地区に施行している。

問不法投棄監視カメラについて。
答1基2万円ほどの簡易な録画カメラ。盗難の可能性もあるため高価で固定式のカメらは考えていない。ダミータイプも含めている。不法投棄の場所がかなり多くて絞り込みができていない。

問テレビショッピング事業の内容は。
答町内4事業所の8商品を紹介している。

問農業振興費の報酬の対象者は。
答農林委員長21人と農業経営改善センター嘱託員1人の計22人となっている。

問簡易水道事業は、平成25年をピークに収益が下降しているが原因は何か。
答西門川小中学校の漏水が原因。26年度に修理済み。

問三ヶ瀬地区は自己の水道がかなりあるのか。
答井戸や営農飲雑水等使用頻度は不明で、上井野地区と比較して大原地区は一般家庭が多い。

問浄水場警備委託料を3年から単年度とした理由は。
答警備員が必要かどうか検討の段階。

農林水産課

問町内観光地清掃業務の内容は例年通りか。
答ほぼ例年通りだが、向ヶ浜トイレのチリ収集を月2回に増やした。

問治山林道費の300万円の内容は。
答庭谷線外林道のコンクリート舗装による修繕。

問三ヶ瀬地区は自己の水道がかなりあるのか。
答井戸や営農飲雑水等使用頻度は不明で、上井野地区と比較して大原地区は一般家庭が多い。

建設課

問砂防費72万円についての内容は。
答城ヶ丘地区の危険区域で、崩落防止のため仮防護柵を設営。このり

問漁業集落汚泥清掃処分料について処分先は。
答小林市の西諸開発という民間の最終処分場。

問自家用の水道の水質検査は。
答上水道、簡易水道ともに法定検査により業者

問6500部で全世帯に配布している。

問自家用の水道の水質検査は。
答上水道、簡易水道ともに法定検査により業者

問自家用の水道の水質検査は。
答上水道、簡易水道ともに法定検査により業者



不法投棄警告看板

あなたの声を町政に 一般質問 2人が登壇!

一般質問は議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。



黒木 裕

若者の町外流出を防ぐには

町長 企業誘致に向けた情報収集に努める

ゴルフ場利用税
町長 引き継いだメガソーラーの会社が平成32年7月に事業開始の予定で、税金として固定資産税が見込まれる。

町長 以前、住民から町が所有しておいて後々役立てれば良いのという声を聞いていたが。

町長 そういう声は一切聞いていない。

ふるさと納税

町長 様々な事業に役立たせている。今後、返礼品の開拓及び、生産者・事業者の紹介などをネットや広報誌、ポータルサイトを通じて、より効果

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 今後の漁業施策は、

町長 庵川漁協の二べ、門川漁協の金八モなどのブランド化、イワガキ養殖事業、マグロ養殖種苗供給事業、水産物提供設備の整備・運営、みなとフェスティバルや朝市・年末もつてけ市の開催によるPR情報発信、藻場の保全・海底清掃などの環境整備。

町長 今後の施策は、

町長 庵川漁協の二べ、門川漁協の金八モなどのブランド化、イワガキ養殖事業、マグロ養殖種苗供給事業、水産物提供設備の整備・運営、みなとフェスティバルや朝市・年末もつてけ市の開催によるPR情報発信、藻場の保全・海底清掃などの環境整備。

的にかつ、しおりやチラシによるPRも行う計画だ。

町長 以前にも答弁しているが、ふるさと納税で税収を上げようとか、財源にしようという考えはない。

町長 以前にも答弁しているが、ふるさと納税で税収を上げようとか、財源にしようという考えはない。



ふるさと納税お礼の品一覧パンフレット

町長 雇用対策としては、門川町企業立地による奨励措置を活用。また、町広報誌による町内事業所の紹介や、門川高校1・2年生を対象の新規就労支援事業において高校での町内企業(12社)の紹介など町内雇用に向けた取り組みも計画している。

町長 雇用対策としては、門川町企業立地による奨励措置を活用。また、町広報誌による町内事業所の紹介や、門川高校1・2年生を対象の新規就労支援事業において高校での町内企業(12社)の紹介など町内雇用に向けた取り組みも計画している。

人口減少問題

町長 町からの情報提供や地区からの課題・要望等については、更にスピード感を持つ必要から町広報誌やホームページ等による情報発信や2カ月に一度開催される地区会長会等での把握に努めてきた。

町長 町からの情報提供や地区からの課題・要望等については、更にスピード感を持つ必要から町広報誌やホームページ等による情報発信や2カ月に一度開催される地区会長会等での把握に努めてきた。

町政報告会

町長 町からの情報提供や地区からの課題・要望等については、更にスピード感を持つ必要から町広報誌やホームページ等による情報発信や2カ月に一度開催される地区会長会等での把握に努めてきた。

町長 町からの情報提供や地区からの課題・要望等については、更にスピード感を持つ必要から町広報誌やホームページ等による情報発信や2カ月に一度開催される地区会長会等での把握に努めてきた。

「さかなの町・門川」の振興を

水永 正継

町長 漁業従事者の生活安定、漁業環境の整備



町長 漁船数は、昭和45年に300隻であったものが平成28年には173隻へと減少。

町長 現在、曳縄・底曳網・延縄・船曳網・磯建網・定置網・養殖など漁獲方法、漁獲される魚種ともに多様な構成。

町長 全国、世界的に臨海部開発、地球温暖化、漁業の経営体の大規模化など、起因する水産資源の減少。

町長 漁業従事者の高齢化と後継者の問題。漁船等の漁労設備の老朽化、船舶燃料の高騰化などによる漁業コスト増の問題。消費者の魚食離れなどがあり、厳しい現状。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

ふるさと納税

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。



愛宕山街区公園登り口



門川小学校体育館

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

町長 港としての機能維持・改修の実施。魚礁、築いそ等の設置、藻場の保護、稚魚・稚貝の放流などの推進。漁船保険や漁獲・養殖共済の保険料補助、小口融資制度による資金の貸付、利子補給制度、漁船燃費向上対策など。

人事案件

人権擁護委員の推薦

現委員が本年6月末で任期満了となるので、次期委員を法務大臣に推薦するにあたり、議会に意見を求めるもの。
推薦する次期委員
和田裕次氏(城ヶ丘在住)
(可決・全員賛成)

条例の改正

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
単身赴任手当を新設し、住居手当及び時間外勤務手当の算定方法を改正するもの。
(可決・全員賛成)

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

職員の勤務が著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務、その他著しく特殊な勤務を対象とする手当を改正するもの。
(可決・全員賛成)

職員等の旅費に関する条例の一部改正

勤務地を異にする異動等に伴い、住居を移転する職員について、赴任に係る旅費として、移転

料、着後手当、扶養親族移転料を新設する等の改正をするもの。
(可決・全員賛成)

使用料徴収条例の一部改正

使用料を改正する施設は勤労者体育センターで、施設の使用区分を「入場料等を徴収しない場合」と「入場料等を徴収する場合、又は商品の宣伝、展示、販売等営利を目的として使用する場合」に区別。その上でアマチュアスポーツでの使用、文化的催事での使用、その他に区分する。さらに、それぞれの区分における使用する面積ごとの1時間あたりの使用料を設定するもの。
(可決・全員賛成)



勤労者体育センター

非常勤の特別職の職員の報酬等に関する条例の一部改正

2件の特別職を追加するもので、地域外の人材を積極的に誘致し、若者等の定住及び地域の活性化を促進するための「地域おこし協力隊員」と家庭の教育力向上に資する活動を企画・実践する「家庭教育支援員」を設置するもの。
(可決・全員賛成)

国民健康保険条例の一部改正

持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法の一部を改正する法律の施行に伴う各条例の一部改正。
(可決・全員賛成)

国民健康保険税条例の一部改正

宮崎県へ納付することになる国民健康保険事業費納付金の創設等についての関係条文の整備を行うもの。
(可決・全員賛成)

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴う改正。
(可決・全員賛成)

介護保険条例の一部改正

平成30年度からの法改正では、介護サービス費用の内65歳以上の高齢者が納める介護保険料の割合が上昇することになり、介護保険料の値上げも検討したが、基金を活用して介護保険料を抑制する方が望ましいと判断し、平成30年度から32年度までの介護保険料を据え置くことにした。
(可決・全員賛成)

発議

議会活性化特別委員会の設置に関する決議

議会内部において、先般から議会活性化実行委員会を発足し、議会基本条例を含めた議会活性化について、3回にわたり協議を重ねてきた。
委員会設置の目的は町民に信頼される開かれた議会を目指し、議会機能のさらなる充実を図り、議会活動や担うべき役割を取り決める議会基本条例の制定及び議会活性化のために、調査・研究・協議・検討をすることである。
(採択・全員賛成)

(記 菊地)

こんな質問もありました

議案勉強会(条例改正、平成29年度補正予算及び30年度当初予算の総括)において、以下のような質疑応答(要約)がありました。

議案勉強会
議案上程後、後日各担当課より議案の内容について、逐次説明を受ける機会があります。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

時間外勤務手当の国家公務員の例から労働基準法に準じた算定方法というが、具体的にはどういふことか。

勤務1時間当たりの給与額の算定において、給料の月額に1.2を乗じた額に1週間当たりの勤務時間に5.2を乗じたもので除して得た額としていたが、改定後は、その除する数値から祝日と年末年始に係る時間を減じたもので除して得た額とする。

単身赴任手当の額の根拠は。
国、県や他の自治体の例を参考とした。本町から60km以上が該当となる。

使用料徴収条例の一部改正(勤労者体育センターの使用料)

料金を徴収するが全面使用しない場合、料金を徴収しない利用者などが体育館内で、混在する可能性があるが。

混乱することから、そういう利用はしない。使用料は、使用する面積に応じて徴収する。

NPOが使用する場合はどうなるのか。
使用料は、入場料を徴収するかどうかで判断する。

非常勤の特別職の職員の報酬等に関する条例の一部改正

地域おこし協力隊員の具体的な取り組みは。
1人は、主に牧山みかんの農園と協力して、観光農園と地域活性化に取り組み、もう1人は自然薯栽培をしながら、その地域が取り組む種々の事業をグレードアップする取り組みをしている。

協力隊員の期間は。
原則3年としている。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正

この改正内容は具体的にはどういふことか。
今まで国民健康保険から後期高齢者医療制度に移行する際に、住所地特例の適用がなかった。今回の改正で適用する。

住所地特例

病院等のある市町村以外に住所を持つ者が、入院等でその病院等のある市町村に住所を変更した場合、住所を変更する前の市町村の保険の適用を引き続き受けられるもの。病院等のある市町村の負担が過大にならないようにするための措置。

補正予算(一般会計)

財産管理費の新庁舎建設基金等積立金は、当初の計画通りか。

当初の計画通り。

心の杜の燃料費の増額の理由は。
灯油の単価の高騰によるもの。

砂防費の具体的な場所は。
急傾斜地の委託料と工事請負費の減額は、城ヶ丘地区で、東側の法面になる。県営急傾斜地崩壊対策事業の負担金は、中村・梅ノ木地区となる。事業費の10%を負担する。

こんな活動も しています

新庁舎建設に係る視察

2月13日に大分県豊後高田市役所、3月29日に日向市役所と美郷町役場の視察を行いました。
今回の視察の目的は、町が平成29年3月に新庁舎建設基本構想を取りまとめ、その後、新庁舎建設に向けた基本計画、地質調査と進み、30年度には、事業スケジュールに沿って基本設計、実施設計が予定されています。新庁舎は、まちづくり、防災拠点、市民の皆様が訪れる重要な施設であります。

私たち議会では、九州管内で近年に同規模の建設された庁舎視察を行うことで、新庁舎に活かせる部分については、議会としての要望や担当課から進捗状況の説明の際に確認、指摘などとして、市民の皆様が長年にわたり利用しやすい役場を目指すための議会活動に取り組んでいます。
また、今後も議会では、その都度、必要に応じて視察を含めた活動を行ってまいります。



日向市役所



豊後高田市役所



美郷町役場

時局講演会

県内17町村議会議員が一堂に会し、国内外の事情について専門的な立場の講師をお迎えして毎年行われる講演会が、1月31日に新富町文化会館で開催されました。皇室ジャーナリストの久能靖氏から「知られざる皇室」と題して、講演をいただきました。



新富町文化会館

議会活性化特別委員会を設置

議会内部で、先般から議会活性化実行委員会を設置し、議会基本条例を含めた議会活性化について、協議を重ねてきましたが、その中において順次議論を重ねながら議会基本条例の制定と議会活性化に向けた取り組みを一層加速する必要があると考え、この3月議会にて、議会活性化特別委員会を設置しました。

目的は、議会機能の更なる充実を図り、議会活動や担うべき役割を取り決める議会基本条例の制定と、議会活性化のために調査・研究・協議・検討をすることです。

委員会は、議長を除く全議員が委員となります。

県内の町村では、平成29年7月1日現在4町1村の議会が条例を制定しています。

※参考 県内の町の人口と議員定数 (人口1万人以上を抜粋)

平成29年7月1日現在

町名	人口(A)	議員定数(B)	A÷B
門川町	18,334	14	1,309
三股町	25,336	12	2,113
国富町	19,834	13	1,525
高鍋町	20,800	16	1,300
新富町	17,613	14	1,258
川南町	15,977	13	1,229
都農町	10,767	10	1,076
高千穂町	12,622	14	901
県内町合計	177,634	165	1,076

(単位：人)

区長会連合会の 要望書受理



去る3月29日、区長会連合会会長および副会長が議長室を訪れ、議会に対する要望書を議長へ提出されました。

内容は、次の二つの項目について、検討する調査特別委員会の設置を求める要望であります。

ひとつは、議員定数を現在14から削減すること、もうひとつは、以前は同日に行われていた町長選挙と町議会議員選挙が、現在約10ヶ月のズレがあるので、これを解消して同日選挙にできないかということでありました。

全国町村議会 議長会表彰

議員として15年以上在職、その功績により表彰されました。



内山田善信議員

小林芳彦議員

おめでとうございます

議員研修会

2月23日、研修を行いました。講師に宮崎市出身で、人気アニメ「忍たま乱太郎」「クレヨンしんちゃん」などに声優で出演され、現在はFMひゅうがラジオのパーソナリティとして、活躍されている池田知聡氏をお迎えして、発音発声の練習、講話、本会議場で議員一人一人に対しての演習を行っていたいただきました。
人前では話す機会が多い議員にとって発音発声を見直す良い研修になりました。



役場3階会議室

シリーズ

地域の力特集

「ワンピース」のメンバーは、門川小学校児童の保護者と同校卒業生の保護者です。

活動は、主に朝自習の時間を利用して、月2回メンバー6人が1人ずつ各クラスで約20分間子ども達に絵本の読み聞かせをしています。

一日のスタートを元気に過ごせるようにと、時には手遊びやなぞなぞ、紙芝居など子ども達と一緒に楽しみながら種々の工夫をしています。朝の読み聞かせを通して、たくさんの本に出会い、子供たちの世界がどんどん広がっていけばいいなと思います。

図書館がすぐに近くにあるという恵まれた環境を生かし、子ども達ももっと読書に親しみ、一冊でも多くの本に出合えますようにと願いながら活動しています。活動のパワーの源は、やはり子ども達の素直な反応。無邪気に笑ってくれたり、怖がってくれたり、本当に読み手も楽しいです。

年1回クリスマス時期に行う授業枠でのお話会は、毎年「ととろ三人の会」の田部さんをお招きして、1時間たっぷりお話の世界に浸ります。教室も雰囲気満載に飾り付けをし、パネルシアターあり、エプロンシアターありで、まさにクリスマスプレゼントのようです。子ども達も毎年とても楽しみにしてくれています。

徐々にメンバーも減ってきている今、図書館ばらんていあ「クレヨン」の皆さんに朝の読み聞かせに参加していただいたりしています。地域の方のお力をお借りしながら子どもたちの読書活動をより積極的なものにつなげていけるよう努力していきたいと思えます。

また、読み聞かせの研修を通じて、メンバーの読み聞かせの技術も少しでも上がっていくように、積極的に情報交換等を行っています。

(編 森川)

門川小学校読み聞かせボランティア

『ワンピース』

メンバー20人(平成29年度)

代表は、藤元美都子さんです



クリスマス時期に行うお話会の様子



議場に来てみらんね

3月議会には7人の方に傍聴いただきました。次回の定例会は6月です。心よりお待ちしております。

お問い合わせ：議会事務局
TEL 63-1140 (内線271)

編集後記

今年の桜は例年より早く開花し、天気も穏やかで、いつになく楽しめたように思います。

さて3月議会は、骨格ではありませんが、30年度当初予算が主な議題でした。今年は町民体育大会が開催される年にあたり、必要な予算が計上されています。

門川高校通線が開通し、継続事業の栄ヶ丘町営住宅D棟は、順調に工事が進んでいます。

新庁舎建設は、いよいよ基本設計の段階となりました。

広報編集広報特別委員会は、今議会で設置した議会活性化特別委員会から、新たに委員1人を加え5人となりました。今後もできるだけわかりやすく、読みやすい議会だよりとなるよう心がけてまいります。

議会広報編集特別委員会 (記 森川)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 森川 春夫 |
| 副委員長 | 米良 格 |
| 委員 | 小林 芳彦 |
| 委員 | 菊地 稿治 |
| 委員 | 中城 資力 |

■ 発行者／門川町議会議長 森 誠一

■ 編集／議会広報編集特別委員会

〒889-0696

宮崎県門川町本町1丁目1番地

TEL(0982) 63-1140

印刷／ヤマシタ印刷

